

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
船橋情報ビジネス専門 専門学校	昭和56年9月22日	鳥居高之	〒273-0005 船橋市本町7丁目12番16号 (電話) 047-425-1051			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人三橋学園	昭和41年9月21日	鳥居 勝一	〒273-0005 船橋市本町7丁目12番16号 (電話) 047-425-1051			
目 的	ネットワーク、情報インフラ構築に必要な技術の習得、社会人として必要な能力の養成、企業に役立つ人材の育成。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	情報ネット ワーク科	2年(昼)	2128単位時間 (又は単位)	平成15年文部大臣 告示第14号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		494単位時間 (又は単位)	1634単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
140人	155人	5人	4人	9人		
学期制度	■前期：4月1日から9月30日 ■後期：10月1日から3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無 ■成績評価の基準・方法について 定期試験の点数と平常点	
長期休み	■学年始め：4月1日から4月10日 ■夏 季：8月1日から8月31日 ■冬 季：12月20日から1月7日 ■学 年 末：3月20日から3月31日			卒業・進級条件	履修した全科目の合格 欠席時間数が規定の欠席日換算で 55日を超えないこと。	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無 ■長期欠席者への指導等の対応 状況に応じ担任、校長と父兄面接			課外活動	■課外活動の種類 運動部6、文化部2、清掃活動 ■サークル活動 (有) 無	
主な就職先	■主な就職先、業界 情報サービス業、コンピュータ販売 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合※2 100% ■その他(任意) (平成25年度卒業者に関する平成27 年4月時点の情報)			主な資格・検定	経済産業省認定ITパスポート試験、 シスコ認定試験CCENT・ CCNA・CCNP	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 5名 ■中退率 3.8%</p> <p>平成 26年 4月 1日在学者 131名 (平成 26年4月入学者を含む)</p> <p>平成 27年 3月 31日在学者 126名 (平成 27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>経済的に学費が負担できない。進路の変更。勉学に対する意欲の喪失。</p> <p>■中退防止のための取組 クラス担任制による日常の密なコンタクトと生活指導を実施する。状況に応じて (例えば欠席日数等) 担任、校長と父兄面接を行う。</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.chiba-fjb.ac.jp</p>

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

IT 業界の動向や人材ニーズを、IT 企業、システム利用者、地域 IT 業界団体から成る教育課程編成委員会から直接情報を得て把握する。あわせて卒業生の就職先企業からの要望のアンケートも参考とする。また学校の自己評価および学校関係者評価、ならびに全生徒に対し学期末ごとに実施される授業理解度調査からも教育課程への課題を得る。これらを総合してより実践的に情報インフラ構築を行うネットワークエンジニア、インフラエンジニアの育成をめざす教育課程の編成を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 26 年 9 月 1 日現在

名 前	所 属
武次靖雄	公益社団法人千葉県情報サービス産業協会、副会長
水上明美	株式会社 ベイキューブシー 代表取締役
西村由美	船橋商工会議所、専務理事
増淵賢一郎	アドビシステムズ株式会社、部長
岡川博一	株式会社プリンガ、取締役
藤井洋一	日本ナレッジ株式会社 代表取締役
鶴巻祐士	船橋グランドホテル株式会社、支配人
山崎健太郎	株式会社 my ふなばし、代表取締役
鳥居高之	船橋情報ビジネス専門学校 校長
杉山 剛	船橋情報ビジネス専門学校 教務部長
森田秀明	船橋情報ビジネス専門学校 IT 系学科統括部長

(開催日時)

第1回 平成 27 年 10 月 26 日 13:00~15:00

第2回 平成 27 年 12 月実施予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携する演習においては連携先企業等の担当者を定め、実習の計画時、実施中、評価のそれぞれのフェーズにおいて科目担当の本校所属教員への助言等の連携を密に行う。評価においては連携の結果を生徒にフィードバックする。また実習を実践的なものにするために必要に応じて適宜実習の場にも企業等の担当者が参加する。なお実習の企業と連携した計画は職員会議にて報告し承認を受ける。実施時の連携状況・連携結果についても適宜職員会議にて報告し指示を受ける。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
シスコネットワーク ング演習 I	ネットワーク技術者に必要とされる知識と技術を修得し、CCENT などの資格取得を目指す。	シスコシステムズ合同会社 Training Center Japan
シスコネットワー キング演習 II	ネットワーク技術者に必要とされる知識と技術を修得し、CCNA、CCNP などの資格取得を目指す。	シスコシステムズ合同会社 Training Center Japan
やってみなはれ演 習 II	経済産業省が提唱する社会人基礎力を学校行事（特に学園祭）の運営により養う。自らの企画を動画とプレゼンし連携企業に評価を受ける。	株式会社ルート 14 株式会社プリンガ 雷鳥 株式会社進学教育研究社
やってみなはれ演習 応用 II	経済産業省が提唱する社会人基礎力を学校行事（特に学園祭）の運営により養う。自らの企画を動画とプレゼンし連携企業に評価を受ける。	株式会社ルート 14 株式会社プリンガ 雷鳥 株式会社進学教育研究社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員研修規程に従い教員は年度研修計画通り知識技術教育・授業及び生徒に対する指導力の研修を受ける。研修計画は教務主任と教務部長が教育課程編成委員会等から得た業界動向と、各教員の能力、担当業務、昇格等を基に計画する。知識技術教育は情報システム構築に関し、その分野に知見のある企業等と連携する。指導力の研修も十分な知見をもつ企業等と連携する。研修の実施は企業等の主催又は講師派遣を受ける。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月1日現在

名 前	所 属
武次靖雄	公益社団法人千葉県情報サービス産業協会、副会長
水上明美	株式会社 ベイキューブシー 代表取締役
西村由美	船橋商工会議所、専務理事
増渕賢一郎	アドビシステムズ株式会社、部長
岡川博一	株式会社ブリंगा、取締役
藤井洋一	日本ナレッジ株式会社 代表取締役
鶴巻祐士	船橋グランドホテル株式会社、支配人
山崎健太朗	株式会社 my ふなばし、代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法) ホームページ

URL: <http://www.chiba-fjb.ac.jp/www/unei.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法) ホームページ

URL: <http://www.chiba-fjb.ac.jp>

授業科目等の概要

(工業専門課程情報ネットワーク科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			コンピュータシステム I	コンピュータの基礎理論や、ハード、ソフト、ネットワーク等のテクノロジー分野の基礎知識を学びます。	1前	76		○	△	
○			コンピュータシステム II	ビジネス用語やシステム開発のマネジメントについて学び、ITパスポート取得を目指します。	1後	76		○	△	
○			アルゴリズムとデータ構造 I	フローチャートの読み書きを中心に、変数の使い方、判定処理、繰返し処理、一次元配列について学びます。	1前	38		△	○	
○			アルゴリズムとデータ構造 II	疑似言語の読み書きを中心に多重繰返しや多次元配列を学び、自ら処理を作成出来る力を身に着けます。	1後	38		△	○	
○			プログラミング演習 I	J a v aを使ったプログラムの作成方法や実行方法、言語の特徴や開発ツールの使い方を学びます。	1前	38			○	△
○			プログラミング演習 II	未完成のプログラムを完成させ応用することを通して、J a v aプログラミングの理解を深めます。	1後	38			○	△
○			Office 演習 I	表計算ソフト MS EXCEL の操作を学び、MOS EXCEL 合格を目指します。	1前	38			○	△
○			Office 演習 II	データベースソフト MS ACCESS とプレゼンテーションソフト MS PowerPoint の操作を学びます。	1後	38			○	△
○			シスコネットワークング演習 I	ネットワーク技術者に必要とされる知識と技術を修得し、CCENT などの資格取得を目指す。	1前	152		△	○	△
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程情報ネットワーク科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			シスコネットワークング演習Ⅱ	ネットワーク技術者に必要とされる知識と技術を修得し、CCNA、CCNPなどの資格取得を目指す。	1後	76		△	○	△
○			Web 総合演習	「Web」に関する基本的な知識の習得から、Webサイトの作成ができるようになるまで学習します。	1後	38		△	○	△
○			検定対策Ⅰ	CCENT、漢字検定、MOS Excel、ジョブパス3級の資格合格を目指す。	1前	38			○	
○			検定対策Ⅱ	Excel2010 の試験範囲に沿って学習し、使い方を取得します	1後	76			○	
○			検定対策応用Ⅰ	CCENT、CCNA、CCNP、IT パスポート、LPIC試験の資格合格を目指す。	2前	38			○	
○			検定対策応用Ⅱ/問題解決技法	検定対策応用Ⅱと問題解決技法のうちいずれか1科目を選択する必修選択科目	2後	38			○	
○			Linuxサーバ構築Ⅰ	Linux を操作するためのコマンドを理解し、サーバ管理者としての基礎知識を身につける。	2前	76			○	△
○			Linuxサーバ構築Ⅱ	より実践的なサーバ構築技法を学ぶ。また、クラウドコンピューティングや負荷分散の基礎を学ぶ。	2後	76			○	△
○			データベース構築Ⅰ	なぜデータベースが必要なのかという視点から設計や正規化を学び、SQLの習得を目標とします。	2前	76			○	△
○			データベース構築Ⅱ	PHPを使ったWebアプリケーションの作成を通して実用的なデータベースの使い方を学びます。	2後	76			○	△
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程情報ネットワーク科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			Java 演習 I	Java 課題を解きながら、処理手順を自分で考え、プログラミング基礎力の向上を目指します。	2 前	38		○	△	
○			Java 演習 II	プログラミング応用力の向上を目指し、自作のプログラムを作れるようにします。	2 後	38		○	△	
○			Office 演習 応用 I	Excel の基本機能を確認し、応用機能・実務的な機能を習得する。	2 前	38		○	△	
○			Office 演習 応用 II	Word の基本機能から応用機能を学ぶ。Excel のマクロ機能 (VBA) の基本を学ぶ。	2 後	38		○	△	
○			プレゼンテーション演習	卒業研究の発表資料を PowerPoint や Word、Excel で作成し、相手に伝える表現力を身につけていきます。	2 後	38		○	△	
○			選択授業 A I	NW 設計、モバイルアプリ制作、グローバルコミュニケーションから学びたい分野を選択し学習する	2 前	38		○	△	
○			選択授業 A II	選 NW 設計、モバイルアプリ制作、グローバルコミュニケーションからから学びたい分野を選択し学習する	2 後	38		○	△	
○			選択授業 B I	L P I C 対策、コンテンツ、DBシステム構築から 1 科目選択から学びたい分野を選択し学習する	2 前	38		○	△	
○			選択授業 B II	L P I C 対策、コンテンツ、DBシステム構築から 1 科目選択から学びたい分野を選択し学習する	2 後	38		○	△	
合計				科目	単位時間 (単位)					

1064 時間

授業科目等の概要

(工業専門課程情報ネットワーク科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			卒業研究Ⅰ	プロジェクトチームを組み、自ら課題を決めて勉強しつつ、計画から実装までを通して行います。	2前	76		○	△	
○			卒業研究Ⅱ	プロジェクトチームを組み、自ら課題を決めて勉強しつつ、計画から実装までを通して行います。前期の成果物を基にシステム開発を完了させる	2後	76		○	△	
○			就職講座BⅠ	就職活動に備えて履歴書の作成や就職試験を突破する力を付ける。就職活動に対する意欲を高める。	1前	38		○		
○			就職講座BⅡ	就職活動に備えて履歴書の作成や就職試験を突破する力を付ける。就職活動に対する意欲を高める。	1後	38		○		
○			自己啓発Ⅰ	「本当の協調性とは」「人として」など自分で自分を育てる大切さを学びます。	1前	38		○	△	
○			自己啓発Ⅱ	「プロ意識とは」「自信と過信」などをテーマに自分の意見を確立します。	1後	38		○	△	
○			情報倫理・セキュリティ	デジタル社会における情報倫理とセキュリティ技術について学びます	2前	38		○		
○			ビジネス実務	ビジネスの現場で役立つ礼儀作法やコミュニケーションの仕方などを学び、ジョブパス3級取得を目指します。	1前	38		○	△	
○			ビジネス実務応用	入社した後で役立つビジネスマナーや文章技法など、実務で使えるビジネスマナーを学びます。	2後	38		○	△	
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程情報ネットワーク科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			就職講座 A	履歴書の書き方、身だしなみ等の知識を学び、面接練習などを通じて就職活動の準備をします。	1後	38		○	△	
○			就職講座 A 応用	面接練習などを通じて就職活動をサポートし、就職が決まった学生には内定後の心構えやアドバイスを行います。	2前	38		○	△	
○			やってみなはれ演習 I	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養います	1前	38		△	○	△
○			やってみなはれ演習 II	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養います	1後	38		△	○	△
○			やってみなはれ演習応用 I	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養います	2前	38		△	○	△
○			やってみなはれ演習応用 II	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養います	2後	38		△	○	△
合計				42 科目	2128 単位時間 (単位)					